

ひとり情シスのIです。

今日は、Microsoft Office2016 のインストールの話です。

今では当たり前となった Microsoft Office ですが、最近のコンシューマ用はインストール方法が煩雑になってきましたので、簡単に説明したいと思います。

弊社は社員が少ないので、今回は Office2016 Home and Business を使用していますが、社員が 20 名とか 30 名とかいる場合は素直に、法人向けの Office 365 Business やボリュームライセンスを購入したほうが良いかと思えます。

それでは本題に入ります。昔は単純に製品についているプロダクトキー（5文字の英数を5セット）を入れればそれで認証が完了しましたが、Office2013からは、マイクロソフトアカウント登録が必須となりました。

流れを整理すると

Office2010 以前：

製品の DVD-ROM を入れてインストール中に、プロダクトキーを入力してインストール完了。

Office2013 以降：

1. マイクロソフトアカウントを作成（会社のメールアドレスか,outlook.jp で作ったもの）
2. 作成したマイクロソフトアカウントを使用して、以下サイトにログイン。  
<https://products.office.com/ja-jp>
3. ログイン後、マイクロソフトアカウントにカード記載のプロダクトキーを登録して紐付ける。
4. 紐づけた後は、インストール用のプロダクトキーが発行されるので、それを控える。
5. オンラインでインストールか、ディスクイメージダウンロードのいずれかを選択。
6. オンラインでインストールの場合は、そのままインストールが始まり終了。
7. ディスクイメージは、DVD-R に焼くか、マウントしてからインストール。

この場合はインストール後最初の起動でプロダクトキーの入力を促されるので、その場合は4のインストール用プロダクトキーを入力。

ポイントは、同じ「プロダクトキー」といっても2種類あることです。オンラインでインストールの場合は気にしなくてもよいですが、イメージをダウンロードしてインストールしたい場合は、注意が必要です。

実際のインストールに使うプロダクトキーは、以下のカードの裏に書いているものではなく、紐づけた後に発行されるインストール用のプロダクトキーとなります。よくある話として、カードの裏のキーを入れたが認証されないということは聞きます。

ここで、賢い方は既に気が付いたかもしれませんが、ダウンロードしたイメージを焼いた DVD-R とインストール用のプロダクトキーが手に入れば、マイクロソフトアカウントとリンクしていない Windows10PC にもインストールが可能だということです。

Iも当初はこの点がわからず、最初は Office をインストールしたい PC があれば、マイクロソフトアカウントを必ず作る必要があるのか、マイクロソフトアカウントのログインを強制されるのか、ローカルアカウントに切り替えた瞬間にインストールした Office が使えなくなるのかと危惧したものでした。実際に家で一本買って見て、確認したところ、そうでないことが分かったので安心したものです。

それでは、また明日。(I)